

ツキノワグマのエサ資源調査（着果状況調査）結果について

1 調査概要

- (1) 調査時期 8月
- (2) 調査地点 南加賀～中能登地域の20～30か所（6月の雄花の落下数調査と同地点）
- (3) 調査内容 ブナ、ミズナラ、コナラの着果状況を調査・評価のうえ、5段階で豊凶を判定

<着果状況の判定基準>

- ① 各調査樹木の着果状況を指数評価
 - 着果なし : 0 一部の枝に疎に着果 : 1 一部の枝に密に着果 : 2
 - 樹冠全体に疎に着果 : 3 樹冠全体に密に着果 : 4 非常に密に着果 : 5
- ② 調査樹木の指数を加重平均し、下表により豊凶を5段階で判定

樹種	大凶作 ×	凶作 ▲	並作 ○	豊作 ◎	大豊作 ◎◎
ブナ	0.1未満	0.1～1.0未満	1.0～2.0未満	2.0～3.0未満	3.0～
ミズナラ					
コナラ					



ブナ



ミズナラ



コナラ

2 調査結果

樹種	予測	着果度 平均値	調査 地点	内 訳				
				大凶作 ×	凶作 ▲	並作 ○	豊作 ◎	大豊作 ◎◎
ブナ	×大凶作 (R6: ▲凶作) (R5: ○並作) (R2: ×大凶作)	0.09 (0.73) (1.55) (0.04)	24	17	7	0	0	0
			(25)	(8)	(9)	(5)	(2)	(1)
			(22)	(2)	(5)	(7)	(6)	(2)
			(24)	(19)	(5)	(0)	(0)	(0)
ミズナラ	◎豊作 (R6: ◎豊作) (R5: ○並作) (R2: ○並作)	2.31 (2.27) (1.52) (1.32)	21	0	3	6	6	6
			(21)	(0)	(1)	(10)	(4)	(6)
			(19)	(0)	(4)	(12)	(3)	(0)
			(22)	(2)	(7)	(7)	(5)	(1)
コナラ	○並作 (R6: ○並作) (R5: ○並作) (R2: ▲凶作)	1.91 (1.93) (1.86) (0.73)	29	1	6	10	8	4
			(28)	(0)	(3)	(10)	(15)	(0)
			(27)	(0)	(11)	(4)	(7)	(5)
			(30)	(6)	(16)	(5)	(1)	(2)

冬眠前の主要なエサである**ブナが、目撃件数や人身事故人数が過去最多だった令和2年**以来の「大凶作」の予測に加え、**目撃件数が多い（過去2番目の多さ）**
⇒ **今秋は人里付近でのクマの大量出没が予想される状況**

参考：近年の着果状況調査による豊凶状況（予測）

区分	各年度の着果状況調査（8月）における豊凶結果										
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
ブナ	◎	▲	○	◎	▲	×	◎◎	▲	○	▲	×
ミズナラ	○	◎	◎	◎	▲	○	◎	◎	○	◎	◎
コナラ	○	◎	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
目撃件数	195 (145)	246 (193)	200 (162)	178 (148)	350 (214)	869 (227)	231 (202)	244 (214)	280 (138)	420 (242)	229 (229)

大豊作	◎◎
豊作	◎
並作	○
凶作	▲
大凶作	×

※（ ）内は9月10日時点の目撃件数